



もっとつながる。未来が動き出す。

2025年度 第3四半期決算について

(2026年3月期 第3四半期決算短信補足資料)

2026年2月3日
西日本旅客鉄道株式会社

1. 決算概要

＜連結決算＞

(単位：億円、%)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	対前年		2025年度 通期予想	対前年	
			増減	比率		増減	比率
営業収益	12,456	13,394	937	107.5	18,360	1,280	107.5
(うち運輸収入)	6,741	7,192	450	106.7	9,300	373	104.2
営業利益	1,753	1,971	217	112.4	1,950	148	108.2
経常利益	1,642	1,847	205	112.5	1,790	133	108.0
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,146	1,210	63	105.5	1,185	45	104.0

■決算のポイント

1. 概要

・まちづくりプロジェクトの開業効果、大阪・関西万博による增收に加え、万博閉幕後もご利用が堅調に推移したことにより、**5期連続の增收増益**。なお、営業収益、及びすべての利益項目において**過去最高の実績**

2. セグメント

・**モビリティ業、流通業**は、大阪・関西万博による增收やインバウンド需要増により、**增收増益**
 ・**不動産業**は、まちづくりプロジェクト（大阪・広島）の開業効果もあり、ホテル・SC業が好調に推移し、**增收増益**
 ・**旅行・地域ソリューション業**は、ソリューション事業は增收も、ツーリズム事業の販売減が大きく、**增收減益**

■業績予想

・2025年度の業績予想は、想定の範囲内で推移していることから、11月4日公表の予想を据え置き

■株主還元

・年間配当は1株あたり90.5円の予想を据え置き

2. 連結損益計算書

(単位: 億円、%)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	対前年		主な増減要因	2025年度 通期予想	対前年	
			増減	比率			増減	比率
営業収益	12,456	13,394	937	107.5	【5期連続の増収】	18,360	1,280	107.5
モビリティ業	7,699	8,209	509	106.6	運輸収入の増	10,745	277	102.6
流通業	1,576	1,791	215	113.7	物販飲食業の増	2,290	207	110.0
不動産業	1,685	1,868	183	110.9	不動産賃貸・販売業の増、SC業の増、ホテル業の増	2,930	603	125.9
旅行・地域ソリューション業	1,290	1,307	16	101.3		2,070	182	109.7
その他	205	217	12	106.1		325	10	103.5
営業費用	10,703	11,423	720	106.7		16,410	1,132	107.4
営業利益	1,753	1,971	217	112.4	【5期連続の増益】	1,950	148	108.2
モビリティ業	1,264	1,400	135	110.7	運輸収入の増	1,280	54	104.5
流通業	124	158	33	127.2	物販飲食業の増	160	21	115.7
不動産業	348	399	51	114.8	不動産賃貸・販売業の減、SC業の増、ホテル業の増	470	80	120.8
旅行・地域ソリューション業	△ 16	△ 20	△ 3	—		10	△ 1	88.2
その他	26	33	6	125.3		35	△ 6	84.5
営業外損益	△ 110	△ 123	△ 12	—		△ 160	△ 15	—
経常利益	1,642	1,847	205	112.5	【5期連続の増益】	1,790	133	108.0
特別損益	19	△ 99	△ 118	—		△ 25	△ 13	—
法人税等	496	509	13	102.7		520	61	113.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,146	1,210	63	105.5	【5期連続の増益】	1,185	45	104.0

※2024年度末より、JR西日本の高架下貸付業の計上セグメントを「モビリティ業」から「不動産業」へ変更。前年同期の金額も、変更後の区分に基づき組み替えております。

3. 各セグメントの主な増減要因

(単位: 億円、%)

		2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	対前年		主な増減要因
				増減	比率	
モビリティ業	営業収益	7,699	8,209	509	106.6	・万博・インバウンド需要を含む鉄道のご利用増
	営業利益	1,264	1,400	135	110.7	
流通業	物販・飲食	営業収益	1,377	1,598	220	・駅構内店舗売上の増
		【再掲:宿泊特化型ホテル】 【182】	【201】	【18】	【110.1】	・客室平均単価の増
	百貨店	営業収益	108	147	38	135.3
		【再掲:宿泊特化型ホテル】 【35】	【51】	【15】	【144.3】	
不動産業	不動産賃貸・販売	営業収益	186	178	△ 7	95.8
		【再掲:不動産販売】 【409】	【443】	【33】	【108.1】	・住宅分譲販売の増
	ショッピングセンター	営業収益	159	155	△ 3	97.7
		【再掲:不動産販売】 【25】	【39】	【13】	【153.5】	・販売利益率差
	ホテル	営業収益	479	554	74	115.6
		【新規開業を含むSC売上高増による賃料収入の増】				
	旅行・地域ソリューション業	営業収益	106	135	29	127.8
		【ツーリズム事業(企画商品販売)の減】				
	営業収益	331	407	75	122.8	・客室平均単価の増、前年度開業平年度化
	営業利益	△ 6	26	33	-	
	営業収益	1,290	1,307	16	101.3	・ソリューション事業(団体取扱等)の増
	営業利益	△ 16	△ 20	△ 3	-	・ツーリズム事業(企画商品販売)の減

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

4. 単体損益計算書

(単位: 億円、%)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	対前年		主な増減要因	2025年度 通期予想	対前年	
			増減	比率			増減	比率
営業収益	7,524	8,007	482	106.4	【5期連続の増収】	10,390	397	104.0
運輸収入	6,741	7,192	450	106.7		9,300	373	104.2
運輸附帯収入	90	105	14	116.2		137	12	110.4
関連事業収入	241	264	22	109.4		352	23	107.1
その他収入	450	445	△ 5	98.7		601	△ 12	98.0
営業費用	6,149	6,537	388	106.3		9,100	345	103.9
人件費	1,534	1,632	97	106.4	単価増	2,155	79	103.8
物件費	3,052	3,270	218	107.2		4,765	161	103.5
動力費	454	472	17	103.9	再エネ賦課金の増	615	6	101.0
修繕費	1,014	1,108	94	109.3	労務単価増	1,720	0	100.0
業務費	1,583	1,690	106	106.7	万博対応経費の増	2,430	154	106.8
線路使用料等	268	292	24	109.0	北幹敦賀延伸による増	390	33	109.3
租税公課	328	337	8	102.5		420	14	103.5
減価償却費	965	1,005	39	104.1		1,370	57	104.4
営業利益	1,375	1,469	94	106.9	【5期連続の増益】	1,290	51	104.2

※2024年度末より、高架下貸付に係る収入を「運輸附帯収入」から「関連事業収入」へ変更。前年同期の金額も、変更後の区分に基づき組み替えております。

5. 運輸収入及び輸送人キロ

運輸収入			(単位: 億円、%)				輸送人キロ			(単位: 百万人 ^千 、%)				
			2025年度 第3四半期		対前年		2025年度 通期予想		対前年		2025年度 第3四半期		対前年	
			増減	比率	増減	比率	増減	比率	増減	比率	増減	比率	増減	比率
新幹線	山陽	定期	94	7	108.9	-	-	-	-	-	738	56	108.4	
		定期外	3,446	278	108.8	-	-	-	-	-	14,731	969	107.0	
		計	3,540	286	108.8	4,544	232	105.4	-	-	15,469	1,026	107.1	
	北陸	定期	16	1	113.4	-	-	-	-	-	111	12	112.3	
		定期外	603	22	103.9	-	-	-	-	-	1,936	59	103.2	
		計	619	24	104.2	794	12	101.6	-	-	2,047	71	103.6	
	定期	定期	110	9	109.5	-	-	-	-	-	849	69	108.9	
		定期外	4,049	301	108.0	-	-	-	-	-	16,667	1,028	106.6	
		計	4,159	310	108.1	5,339	245	104.8	-	-	17,517	1,097	106.7	
在来線	近畿圏	定期	828	10	101.2	-	-	-	-	-	12,955	130	101.0	
		定期外	1,585	105	107.1	-	-	-	-	-	8,138	335	104.3	
		計	2,414	115	105.0	3,156	110	103.6	-	-	21,093	465	102.3	
	その他	定期	158	1	101.3	-	-	-	-	-	2,583	18	100.7	
		定期外	459	22	105.0	-	-	-	-	-	2,212	12	100.6	
		計	618	24	104.0	804	17	102.3	-	-	4,796	31	100.7	
	定期	定期	986	12	101.2	-	-	-	-	-	15,538	149	101.0	
		定期外	2,045	127	106.7	-	-	-	-	-	10,351	347	103.5	
		計	3,032	139	104.8	3,960	127	103.3	-	-	25,890	497	102.0	
合計	定期		1,097	21	102.0	-	-	-	-	-	16,388	218	101.4	
	定期外		6,094	429	107.6	-	-	-	-	-	27,019	1,376	105.4	
	計		7,192	450	106.7	9,300	373	104.2	-	-	43,407	1,594	103.8	

※荷物収入は金額些少のため省略

6. 運輸収入の主な増減要因

(単位: 億円)

				2025年度 第3四半期			
				対前年		主な増減要因	
新幹線	山陽	3,540	286	108.8%	基礎トレンド(102.1%)	+69	
					・大阪・関西万博	+130	
	北陸	619	24	104.2%	・インバウンド需要の増※2	+34	
					等		
在来線	新幹線計	4,159	310	108.1%	基礎トレンド(100.1%)	+0	
	近畿圏	2,414	115	105.0%	・大阪・関西万博	+18	
					・インバウンド需要の増※2	+3	
	その他	618	24	104.0%	等		
					基礎トレンド(99.7%)	△7	
在来線	近畿圏	2,414	115	105.0%	・大阪・関西万博	+57	
					・インバウンド需要の増※2	+34	
	その他	618	24	104.0%	・バリアフリー料金収受エリア拡大	+13	
					・パンダ特需	+1	
在来線	在来線計	3,032	139	104.8%	等		
					基礎トレンド(100.0%)	+0	
	その他	618	24	104.0%	・大阪・関西万博	+5	
					・インバウンド需要の増※2	+7	
在来線	在来線計	3,032	139	104.8%	・パンダ特需	+2	
					等		
	運輸収入計※1	7,192	450	106.7%			

※1 荷物収入は金額些少のため省略

※2 大阪・関西万博影響との重複分含む

7. 設備投資（出資含まず）

(単位: 億円、%)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	対前年		2025年度 通期計画
			増減	比率	
連結設備投資計	1,408	1,449	40	102.9	-
自己資金	1,365	1,415	50	103.7	2,915
負担金	43	33	△ 9	77.8	-
単体設備投資計	812	963	150	118.5	-
自己資金	769	929	160	120.8	1,955
(再 (安全関連投資))	(509)	(693)	(184)	(136.2)	(1,285)
(掲)(その他)	(260)	(235)	(△ 24)	(90.7)	(670)
負担金	43	33	△ 9	77.8	-

※株式等への出資は含めておりません。

・主な設備投資件名（単体）

車両新製（岡山・山口近郊、N700S）、保安防災対策（地震対策等）等

8. 連結貸借対照表

(単位: 億円)

	2024年度 期末	2025年度 第3四半期末	対前年	主な増減要因
流動資産	6,173	7,365	1,192	
現金及び預金	1,256	1,660	404	
棚卸資産	1,811	2,458	646	
その他の流動資産	3,105	3,246	141	
固定資産	31,350	31,121	△ 229	
有形固定資産等	26,856	26,648	△ 208	
建設仮勘定	782	917	135	
投資その他の資産	3,712	3,555	△ 156	
資産計	37,523	38,486	963	
流動負債	6,985	6,694	△ 291	
1年内返済予定長期借入金等	1,387	979	△ 408	
未払金等	5,597	5,715	117	
固定負債	17,736	18,630	893	
社債・長期借入金等	13,830	14,702	872	
退職給付に係る負債	1,706	1,761	55	
その他の固定負債	2,199	2,165	△ 34	
負債計	24,721	25,324	602	
株主資本	11,296	11,570	274	
資本金	2,261	2,261	—	
資本剰余金	1,840	1,839	△ 1	
利益剰余金	7,207	7,482	274	
自己株式	△ 12	△ 11	0	
その他の包括利益累計額	270	330	60	
非支配株主持分	1,235	1,261	25	
純資産計	12,801	13,162	360	
負債・純資産計	37,523	38,486	963	

販売用不動産、未成工事支出金の増

	2024期末	2025.3Q	増減
有利子負債残高	15,296	15,796	500
【有利子負債平均金利(%)】	【1.28】	【1.40】	【0.12】
新幹線債務	961	954	△ 6
【新幹線債務平均金利(%)】	【6.55】	【6.55】	【-】
社債	8,454	8,559	105
【社債平均金利(%)】	【1.09】	【1.17】	【0.08】
その他長期借入金等	5,880	6,282	402

親会社株主に帰属する四半期純利益 1,210、自己株式消却 △499
配当 △428

9. 各種経営指標

(単位：%、億円、人)

	2024年度		2025年度	
	第3四半期	期末	第3四半期	期末（予想）
連結ROA	—	4.8	—	5.1
連結ROE	—	10.1	—	10.1
連結EBITDA	2,997	3,495	3,281	3,790
連結減価償却費	1,243	1,693	1,309	1,840

	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数（就業人員）	45,487	21,561	45,450	21,665	47,309	22,466	—	—
金融収支	△ 132	△ 117	△ 181	△ 147	△ 146	△ 130	△ 203	△ 187
受取利息・配当金	13	32	13	52	13	43	13	44
支払利息	145	149	195	200	159	173	216	231

ネット有利子負債／EBITDA	—	4.0倍	—	—
自己資本比率	—	30.8%	30.9%	—
1株当たり四半期(当期)純利益 (EPS)	240.84円	240.08円	262.83円	258.12円
1株当たり純資産 (BPS)	—	2,458.45円	2,615.16円	—

	2024年度		2025年度予想	
	中間	期末【年間】	中間	期末【年間】
配当の状況	37.0円	47.5円【84.5円】	45.0円	45.5円【90.5円】

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくはいまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともあります。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとしる重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 感染症の発生・流行
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2026年2月3日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2026年2月3日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/>